

第5回 道の駅おがち利用促進検討会の概要と意見

■委員出席者名簿・開催状況

▼委員出席者名簿

| | 所属 | 役職 | 氏名 | 代理出席者 |
|----|----------------------------|---------|-------|-------------|
| 1 | 株式会社 小町の郷 | 代表取締役社長 | 押切 宗助 | |
| 2 | 湯沢市雄勝観光協会 | 会長 | 高橋 修一 | |
| 3 | 雄勝野づくり連絡協議会 | 会長 | 佐藤 力 | |
| 4 | 湯沢商工会議所 | 会頭 | 和賀 幸雄 | 副会頭 富谷 栄助 |
| 5 | ゆざわ小町商工会 | 会長 | 佐藤 正明 | |
| 6 | 湯沢市観光物産協会 | 会長 | 佐藤 正明 | 専務理事 山脇 幹 |
| 7 | 秋田県雄勝地域振興局 | 局長 | 福田 正人 | 建設部長 高橋 悟 |
| 8 | 秋田県警察本部 湯沢警察署 | 署長 | 高橋 等 | 交通課長 佐々木 宏樹 |
| 9 | 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 | 所長 | 目黒 嗣樹 | |
| 10 | 湯沢市 | 市長 | 佐藤 一夫 | |

▼開催状況



■会長あいさつ（湯沢市長 佐藤一夫 会長）

- ・ 近隣の道の駅では、地元のそばやアウトドア用品店の出店など、地域の特色を生かした取り組みがなされている。「道の駅おがち」についても、道の駅としての機能向上とともに集客能力のアップを図りたい。
- ・ 道の駅の整備にあたり、防災拠点とした方向性についても今後検討していきたい。
- ・ 横堀道路や東北中央自動車道の開通にあわせて、秋田県の南の玄関口として道の駅機能を強化し、道の駅を核としたまちづくりを進めていく必要がある。

■委員からの意見・質疑応答

株式会社 小町の郷 代表取締役社長 押切宗助 氏

- ・ 道の駅は、地域を代表する産業・地域おこしの役割を担っている。
- ・ 県境の道の駅として、「道の駅おがち」が果たす役割は大きいと認識している。
- ・ 地域おこしの道具として、次の世代が道の駅を展開できるものとしてほしい。

湯沢市雄勝観光協会 会長 高橋修一 氏

- ・ 仙台や山形方面からの南の玄関口として、「道の駅おがち」の観光を中心とした整備は必要。
- ・ 一方で、アクセス改善が、「道の駅おがち」のためだけにならないよう、他の施策も加えながら雄勝地域周辺の活性化を検討してもらいたい。
- ・ 事務局から提案があったとおり、本検討会の目的である、道の駅の利用促進、利便性の向上について道筋が示され、その目的は果たしたとして本検討会を解散することについては了承した。このあとはどのように進めていくのか。

《湯沢市長 回答》

- ・ 検討会は今回で終了するものとするが、各施策ごとに関係者からの意見をいただくための組織が必要になる。そのなかで進めていきたいと考えている。

雄勝野づくり連絡協議会 会長 佐藤力 氏

- ・ 地域のために、防災機能を付加することにも力を入れていただきたい。
- ・ 道の駅を中心としたまちづくりについては、夢があって、そして地域活性化につながる展開としてほしい。
- ・ 資料によると、横堀道路は令和7年度の開通見通しとされているが、その前提としてトンネル工事、用地買収、埋蔵文化財調査などが順調に進んだ場合とされている。今のところ、何か支障となっているか。

《事務局 回答》

- ・ 横堀道路において現在進めている(仮)横堀トンネル工事は、令和4年9月までの工期である。トンネルは掘り始めたばかりであり、地質状況や工事進捗状況によっては工期が伸びる可能性もある。現段階においてはトンネル工事、用地買収、埋蔵文化財調査で特段の支障は見受けられないので、予定通りとして進めているところ。

湯沢商工会議所 会頭代理 副会頭 富谷栄助 氏

- ・ 道の駅利用者としては、清潔なトイレは重要。東北中央自動車道が全線開通になれば、「道の駅おがち」は間違いなくサービスエリアの代替になる。リピート客を確保するためには、物販やイベント強化に加えて、利用者目線で定期的なトイレ改修も必要である。

ゆざわ小町商工会 会長 佐藤正明 氏

- ・ 新型コロナウイルス関連もあり、現在は新幹線よりも車で移動する方が多数である。県外からも車で道の駅を目的地として目指してくる。「道の駅おがち」から湯沢市内の観光物産へお客が流れることで、地域の経済もまわってくる。
- ・ 道の駅周辺整備により湯沢市全体の交流人口が増えれば、商工会としても会員や個人商店への費用対効果が生まれることになる。

湯沢市観光物産協会 会長代理 専務理事 山脇幹 氏

- ・ 年数が経過した県内の道の駅でも、リニューアルなどにより利用者増につながっているケースがある。このような機会があるのであれば、周辺整備により来場者を増やしていただきたい。
- ・ 道の駅は通過点ではなく、そのものが目的になっている。観光情報など発信力の強い道の駅を目指し、市全体の観光物産につながるよう取り組んでもらいたい。

秋田県雄勝地域振興局 局長代理 建設部長 高橋悟 氏

- ・ 県境に立地する「道の駅おがち」のポテンシャルは高い。
- ・ 秋田県でも、道の駅の利活用は施策目標に掲げている。特に県南では、道の駅の駐車場拡充工事などを行っている。県としても協力できる部分があれば応援していきたい。
- ・ 東北中央自動車道から「道の駅おがち」へのアクセス改善は、非常に良いメニューであると思う。リニューアルと併せて良い方向で実施していただきたい。

秋田県警察本部 湯沢警察署 署長代理 交通課長 佐々木宏樹 氏

- ・ 今年9月10日に「道の駅おがち」付近の国道13号交差点で死亡事故が発生した。
- ・ 東北中央自動車からのアクセス道路が完成すると、人と車の流れが変わることになる。折角来てくれた方が悲しむことにならないように、交通事故を未然に防ぎ、また、円滑に利用できるよう道路管理者と協議を重ねたい。

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 所長 目黒嗣樹 氏

- ・ 道の駅を育てていく施策を検討していただき感謝する。また、横堀道路開通への皆さんの期待をしっかり受け止めていく。
- ・ 横堀道路の令和7年度の開通予定に合わせ、道の駅へのアクセス改善に向けて取り組んでいく。加えて案内標識の設置も重要と考えている。これらを具体的に進めるうえで、詳細設計や関係者との協議を進めていく。
- ・ 具体的な取り組みを進めるための手続きなど、地元の皆さんの協力も必要となることから、引き続きよろしくお願ひしたい。

■意見・コメント総括

湯沢市長

- ・ 道の駅リニューアルやアクセス改善、周辺道路の整備、まちづくりについて、この後も皆さんの協力をいただきながら進めていきたい。
- ・ いただいた意見は、現在、湯沢市が策定を進めている基本計画に反映していきたい。

以 上